

12年間をつなぐ「個別の教育支援計画・指導計画」

～ 向日が丘の「個別の教育支援計画・指導計画」～

平成26年、日本が国連の「障害者権利条約」の締結国となり、「私たちのことを、私たち抜きに決めないで」という理念にもとづき、教育や福祉のあり方が見直されている。向日が丘の個別の教育支援計画や指導計画は、特殊教育から特別支援教育に向かう頃から校内で検討されてきた。今、新たに「本人・保護者のための教育文書として活用する」という新たな検討が求められている。

教育支援計画検討会議

1. すべては「個人実態表」から始まっています

向日が丘は平成20年まで下図のような「個人実態表」という文書で児童生徒の発達課題や障害の実態を把握し、クラス編成や学習目標、学習内容を話し合い、教育課程を作成していました。

その項目は障害別・発達別に若干の違いはありますが、おおむね「健康・身体制御・運動」(下部連関)、「手指の操作・物の操作」(基本連関)、「認識・言語・対人交流・社会性」(上部連関)、「自己表現・人格形成」(内部連関)で実態把握を行います。この各項目を機能的に関連づけたり、発達的に関連づけることで「全体像」の項目を記述します。

「全体像」の項目には一人ひとりについて、学校で

の中心的な課題、年間の目標(短期目標)のほか、人格形成にかかわる実態も記述していました。このことが向日が丘などが重視してきた一人ひとりの児童生徒を「(障害・発達・生活を)まるごととらえる」(「全体像」でとらえる)という子ども理解の観点や、「児童生徒の実態から授業目標や学習内容を話し合って授業をつくる」(子どもに合わせた授業)という教育課程作成の基本になる観点です。

さらに、特別支援教育(平成19年 学校教育法改正)への移行が準備された頃、「個別の指導計画」の様式検討の基礎となったのが、この「個人実態表」でした。現在は、個別の教育支援計画④表(観点別実態・アセスメント表)としています。

個人実態表 (肢体障害のある重度重複)

氏名		学部学年 生年月日		中学校部 平成〇〇年 〇月 〇日		主 障 害 脳性麻痺、知的障害	
項目	実 態	課 題		指導の手立て		評 価	
全体像	自分の思いややりたいことがはっきりしていて、好きなことに集中して向かい、納得いくまで繰り返そうとする。また自分なりの見通しや思いがあり、思いを通そうとしたり、葛藤したりする。思いが満たされない物があったり、自分でやろうとして手伝うとおこるなど、自我が育ってきている。理解言語が増えており、日常的なことは言葉・写真で大人とのコミュニケーションがとれるようになってきた。コミュニケーションを通して活動への見通しがもてたり、気持ちの切り替えができた、間を持って次の活動に移ることができたりする。初めての場所・やったことのない事に不安感が強いが、大人の手を取って落ち着こうとするなど、気持ちを調整することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 生理的基盤の安定 好きな遊びや経験を広げる中で、活動への見通しや期待を持つ。 相手に自分の要求をよりよく伝える力をつけるとともに、相手の意図や場面も受け入れ合意していくやりとりができる力、調整の力をつける。 運動機能の維持をはかり、・・・ 		<ul style="list-style-type: none"> 家庭との連携(連絡帳) 自分のやったことの失敗や、自分のできること・難しいことが 分かるようになっていっているので、気持ちひいてしまっ・・・ 		<ul style="list-style-type: none"> 教室でごろんと横になることができ、目の下にクマができた、イライラして怒るということがなくなった。 	
睡眠	生活リズムは家庭で注意して管理されている。冬場は睡眠時間を多く取る必要がある。(10時間/日) 疲れがたまり眠り不機嫌になり、大きな声を・・・	<ul style="list-style-type: none"> 睡眠不足で機嫌の悪い時は、気分転換をしつつ、活動に向かう。 		<ul style="list-style-type: none"> 表情や目のしたのクマで体調が・・・ 		<ul style="list-style-type: none"> 2学期中頃から頭をたたく自・・・ 	
食事	歯ごたえのある物を好み、パンはトーストする。よく食べる。しかし咀嚼は不十分なで、おしっこはズボンに手をかけた、お腹を押さえて知らせる。衣服の上げ下げ・・・	<ul style="list-style-type: none"> スプーン、フォークを使って食べるよう練習している。 		<ul style="list-style-type: none"> スプーン・フォークを使い、自分で食べられるようになる。 		<ul style="list-style-type: none"> すくいやすいお皿の使用・・・ 	
排泄	おしっこはズボンに手をかけた、お腹を押さえて知らせる。衣服の上げ下げ・・・	<ul style="list-style-type: none"> 出かける前におしっこに行く習慣。自分でトイレに行くこともある。 		<ul style="list-style-type: none"> 立位でしっかり立って介助への協力動作ができる。(自分でズボン・・・ 		<ul style="list-style-type: none"> トイレの失敗はない。 取り組みの前に・・・ 	
健康・医療面での配慮	脳性麻痺、・・・の投薬あり。めいばい活動し、自分で調整できないので週末や行事の後は疲れが出やすい。体温調節ができていない。目の疾患があり、・・・ 服や靴下・装具を脱ぐ事ができるが、着る時に介助が必要。着る・履く時に援助を要求できる。・・・	<ul style="list-style-type: none"> 家庭で健康管理を綿密にされている。疲れ気味の時は水曜日欠席もある。放課後週1回、マッサージなどもうけている。手洗いが習慣付いた。歯磨き粉をつけて磨いた後のうがいで、少し出せるようになった。お風呂・・・ 		<ul style="list-style-type: none"> 身の周りの出来ることを増やす。(連絡帳・給食袋・装具・学習場所柄の移動・給食時の手洗いと・・・ 		<ul style="list-style-type: none"> 自分でやろうとする時、少しの 援助をしながらも、・・・ 	
運動機能	足が内転していて、立位時に足底がつかない。横からの力で倒れやすい。足の内転が強まり、独立歩行はできなくなった。手つなぎ折・・・	<ul style="list-style-type: none"> 装具を使用し、歩行の力を維持する。 歩行車歩行で運動量を増や・・・ 		<ul style="list-style-type: none"> 前から両手で支えるか、後ろか・・・ 		<ul style="list-style-type: none"> 歩行は歩行車をつかっている方・・・ 	
手指の操作	右利き。左も使う。道具の使用や本のページをめくる等は右手。注意を促されると意識して丁寧に操作しようとする。自由に使っている時は拇指対・・・	<ul style="list-style-type: none"> 定位的な操作の力を伸ばす。 目と手の協応の力をつける。 		<ul style="list-style-type: none"> 指先を使わず、大づかみな手の 動きになりやすいので・・・ 		<ul style="list-style-type: none"> 日常の場面で、食事をしたり、かごに入れたりという定位・・・ 	
ものに向かう力	車いすで進みながら、ガタガタな所を通ったり、坂道をスピードを出して進んで楽しむ。トランポリン、すべり台、ブランコ、玉乗りなど全身を動かす遊びも好きで、身体を使う遊びをするが気持ちよく学習場面にも向かうことができる。興味のある遊びが増えてきたことで、様々な・・・	<ul style="list-style-type: none"> 好きな活動に、落ち着いて、間を持って向かえる・・・ 「～したら～になる」という結果のはっきりした取り組みに集中・・・ 		<ul style="list-style-type: none"> 「ちょっとまってね」等の声か けて、場面を理解し、待つ力、切り替える力・・・ 		<ul style="list-style-type: none"> 写真と言葉で、取り組みの見通しを持つことがかなりできるようになってい・・・ 	
コミュニケーション	(相手が伝えようとすることを理解する力) 日常の生活や行動に関することは、言葉で分かることがある。場所の名前は活動のイメージを伴って分かる。いくつかの写真カードで何をやるかが分かる。写真カードを見ながら話をしてもらうとよく聞いている。	<ul style="list-style-type: none"> サインやことばの理解を広げる。(視覚的支えを伴って) 落ち着いて相手の言うことを聞こうと・・・ 		<ul style="list-style-type: none"> 本人の理解言語を、周囲の人が 共通理解し、同じ言葉で言うようにして・・・ 		<ul style="list-style-type: none"> 日常生活のことは、ことばでも分かることが多い。尋ねたことと、・・・ 	
見通し	写真カードや具体物、場面、状況から次にする活動が分かる。自分で遊びの道具を示してその活動をしようとする。バスから教室、教室から寄宿舎。教室から保健室など空間的な見通しが広がっている。・・・	<ul style="list-style-type: none"> 写真カードを手がかりに一日の流れの見通しを持つ事ができる。 教室を中心に、自分なりの見通し・・・ 		<ul style="list-style-type: none"> 帰る前に、写真カードと言葉で 一日の事を思い出した・・・ 		<ul style="list-style-type: none"> 取り組みは写真を見て見通しを持つことができた。 	
社会性	合同学習などいつもより少し大きな集団での学習も、活動のイメージを持って楽しい活動があれば期待して望めるようになってきた。大きな集団で・・・	<ul style="list-style-type: none"> 友だちを意識して活動に参加できる。 大人以外の同年代の友達と・・・ 		<ul style="list-style-type: none"> 大人が間に入って、関わりを持・・・ 		<ul style="list-style-type: none"> 体育祭の徒競走で他クラスの・・・ 	